

代表樹種 タイワンフウ



〔撮影場所;小倉北区足原〕

マンサク科 タイワンフウ（楓） <別名//フウ> 落葉広葉高木 樹高20～25m

中国中南部・台湾が原産。高さ20mほどになるが、原産地では40～60mになるものもある。街路樹、並木道として自然生長のままでも樹形がよく揃い整い、春の新緑、秋の紅葉（アメリカフウより淡い色調 橙、黄など）、冬木立など四季を通して楽しめる。葉は掌状に3中裂。先がとがり、縁に細かい鋸歯があるのが特徴。萌芽力旺盛で、生長は極めて速く、都市環境の適応力も大きい。



秋季



葉と幹
葉はトウカエデ
に若干似ている。

街路樹としての代表的路線
小倉北区 三萩野熊本1号線
八幡西区 香月131号線